

〔議会事務局〕経営計画書（総括表）

■事務事業の総括

No.	事務事業名	様式 区分	R1 度計画額（単位：千円）		R1 年度必要人工	
			計画額	内特定財源	職 員	臨時職員
1	議会運営事業	B	8,053	0	1.5	0
2	議会広報事業	B	2,137	0	0.5	0
	合 計		10,190	0	2.0	0

■特記事項

平成31年4月に改選が行われることによる臨時的経費が増加する。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	議会事務局	No.	1
事業名	議会運営事業		
総合計画の体系	基本目標	6	持続可能な地域経営
	基本政策	2	行財政経営
目的	議会の円滑な運営を図るため事務の効率化を目指す。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本会議、委員会、協議会の会議運営 ・会議録の作成 ・常任委員会の視察対応 ・特別委員会の事業推進 		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページによる情報発信
現在における経過又は課題	<p>【会議運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議運営の効率化と事務の効率化を目的として、平成30年12月定例会よりタブレット等を利用したペーパーレス会議システム（以下、SideBooks）の運用を開始した。タブレット等機器の操作習熟度には個人差があるため、一定の水準まで引き上げられるかが課題である。 ・マイク等一部設備の更新は過去に行っているが、議場音響設備のほとんどは庁舎建設時からのもので構成されている。近い将来、当時の設備に精通した技術者がいなくなるとも言われているため、機材のトラブルが発生した場合の対応が困難になる恐れがある。 <p>【ホームページ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会活動をより多くの方に知ってもらう手段として、平成26年9月定例会から一般質問をインターネットによる生中継及び録画の配信を始めた。平成28年12月定例会からは録画配信のみとなっている。傍聴席から撮影しているため、質問者の表情が見えたほうがよいという声がある。 ・平成29年6月から会議録検索システムを導入し、平成24年3月の定例会から、定例会、臨時会、委員会の議事録をホームページ（外部サイト）から閲覧できるようにした。また、会議録完成後に配布していた冊子の数を削減した。 		
令和元年度の目標又は改善策	<p>【会議運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度は改選の年でもあるため、主に初当選した議員を対象に議会運営の基礎をしっかりと理解してもらえるように講習会を行う。 ・SideBooksの操作に不安のある議員に対して、会議等において滞りなく利用してもらうためのサポートを行う（講習会等）。 <p>【ホームページ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議決結果等を速やかに更新するとともに、議会活動に関する掲載内容の充実を図り、住民に対し、より多くの情報を発信する。 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	当選議員に対して議会運営に関する説明会の開催 （SideBooks 及びタブレット（iPad）の操作研修も含む）
5	臨時会 新人議員を対象とした議会運営に関する講習会の開催
6	定例会
9	定例会
12	定例会
3	定例会
随時	※毎月、総務建設・文教福祉常任委員会協議会及び全員協議会を開催 会議録の作成及びホームページによる情報発信等 常任委員会視察は7月から11月までの間で実施予定（会期中は除く）

■事業コスト

		単位	H29 年度決算額	H30 年度当初予算額	R1 年度計画額
事業費		千円	8,801	7,555	8,053
（内特定財源）		千円	0	0	0
人工	職員	人工	1.2	1.2	1.5
	臨時職員	人工	0	0	0
	計	人工	1.2	1.2	1.5

■令和元年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

特定財源名称	金額	備考（充当先等）
合計		

■令和元年度計画額の主な増減

（新たな取組、臨時経費、廃止項目等）

（単位：千円）

項目（科目等）	計画額	増減額	内容
議会用備品購入費	188		議員控室パソコンの更新

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

【会議運営】

- ・議員改選後に新議員を対象に議会の基本的事項についての説明会を実施し、不明な点等についてはその都度説明を行った。
- ・Sidebooks の操作についても主に新議員を対象に5月臨時会の前に開催し、基本操作を学んでもらった。

【ホームページ】

- ・議決結果等の会議結果を速やかに更新した。また、一般質問の通告内容の紹介と動画紹介のページを統合するなど、利用者にとって見やすさを意識したものに修正を行った。

■評価

【会議運営】

大きなトラブルもなく会議を運営できた。

【ホームページ】

特段の意見等はなかった。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	議会事務局	No.	2
事業名	議会広報事業		
総合計画の体系	基本目標	6	持続可能な地域経営
	基本政策	3	情報発信・共有
目的	<p>町政に係る重要な情報を議会独自の視点で住民に周知し、多様な広報手段で、より多くの住民が議会と町政に関心を持つように努めることを目的とする。</p>		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・議会広報誌「おおぐち議会だより」の編集及び発行 ・議会広報に関する視察対応 		
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「おおぐち議会だより」は、議会広報誌として年4回発行している。限られた紙面で、定例会や委員会等で審議した経過について、より住民に「読んでもらえる」「分かりやすい」紙面づくりが求められている。 ・「高齢者に可読性が低い」と指摘（議会広報全国コンクール審査委員）のあったオレンジ系の配色を、207号からブルー系に見直した。 ・議会広報常任委員会では、全国町村議会広報コンクールにて優秀な成績を収めた町村議会への視察のほか、雑誌編集等の専門家が講師を務めるクリニックにおいて指導を受け、より多くの住民に手に取って読んでもらえる広報誌づくりを目指している。現在、他自治体議会の取組み等を参考にしながら、委員と事務局の作業分担、紙面構成の見直し等の検討・実施を進めている。 ・他自治体議会では、定例会の結果を報告するだけでなく、議員が住民を取材し、その声を掲載するなど、議会広報を通して議会と住民の距離を近づけるような工夫をしている事例がある。議会広報常任委員会で検討し、できるところから取り入れていく必要がある。 		
令和元年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・「おおぐち議会だより」を通じて住民が議会に関心を持ってもらえるよう、「住民に読んでもらえる、分かりやすい紙面づくり」を目指し情報を発信する。 ・令和元年度は議員改選の年であるため、新たに議会広報常任委員となった議員に対しても議会広報づくりのポイントをしっかりと認識してもらう必要がある。引き続き、他自治体議会の視察や全国町村議会議長会等の研修を受講することで、議会の内容を分かりやすく伝える技術や編集技術を習得し、その成果を紙面づくりに生かす。 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	219号発行（3月定例会）
6	220号発行（5月臨時会）
7	221号発行（6月定例会） 全国町村議長会主催 広報クリニック参加 議会広報コンクールにて優秀な成績を収めた町村議会の視察研修
8	県町村議長会主催 広報クリニック参加
10	222号発行（9月定例会）
1	223号発行（12月定例会）

■事業コスト

		単位	H29 年度決算額	H30 年度当初予算額	R1 年度計画額
事業費		千円	1,337	1,939	2,137
（内特定財源）		千円			
人工	職員	人工	0.8	0.8	0.5
	臨時職員	人工	0.0	0.0	0.0
	計	人工	0.8	0.8	0.5

■令和元年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

特定財源名称	金額	備考（充当先等）
合計		

■令和元年度計画額の主な増減

（新たな取組、臨時経費、廃止項目等）

（単位：千円）

項目（科目等）	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

まずは手にもってもらうために、親しみやすく手に取ってもらいやすい表紙にすることに心がけた。内容についても研修等で学んだことや、先進議会を参考に紙面構成を考えた。

■評価

アンケート調査等を行っていないので実際にどれだけの人に手に取って読んでもらったかが分からない。また、議会だよりに関する意見等も届いていないので評価することは困難。